

第 1 回浪江町除染検証委員会議事要旨

日時 : 令和 3 年 7 月 29 日(木) 13 : 15 ～ 14 : 45

場所 : 浪江町役場本庁舎 301 会議室

出席者 : 井上委員、塚田委員、床次委員、眞田委員(順不同・敬称略)

福島地方環境事務所 環境再生課 須賀課長

福島地方環境事務所 環境再生課 森岡調査員

福島地方環境事務所 浜通り北支所 櫻庭支所長

福島環境再生事務所 浜通り北支所 浪江分室 狩野専門官

福島環境再生事務所 浜通り北支所 浪江分室 永田専門官

復興庁 福島復興局 浪江支所 片井次長

福島県 除染対策課 只野主任主査

浪江町 : 小林副町長

企画財政課 企画調整係 山田係長

住民課 柴野課長、松本課長補佐、田中主査

【資料】

- | | |
|------|-----------------------|
| 資料 1 | 令和 3 年度浪江町除染検証委員会事業計画 |
| 資料 2 | 第 1 回浪江町除染検証委員会事業計画 |
| 資料 3 | 「S 寺竹林除染」結果報告 |

資料 4

「町道沢東原 1 号線路肩」結果報告

資料 5

浪江町特定復興再生拠点区域における解体及び除染の進捗状況

資料 6

特定復興再生拠点の解除に向けたスケジュール（案）

1 開会

発言者	内容
事務局	(開会宣言)

2 あいさつ

発言者	内容
小林副町長	(開会に伴う挨拶)

3 浪江町除染検証委員会について

発言者	内容
事務局	資料 1、資料 2 に基づき説明

4 委員長・副委員長選出、委員あいさつ

発言者	内容
事務局	◆浪江町除染検証委員会設置要綱第 6 条第 2 項により選出 (要綱に基づき、互選により委員長に塚田氏、委員長指名により副委員長に井上氏を選出。)

5 議事

(1) 前年度個別案件の状況報告

【S 寺竹林除染結果報告】について

発言者	内容
須賀課長	◆資料3に基づき説明
塚田委員 (以後、委員長)	本内容につきまして、ご意見ご質問をお願いします。
眞田委員	今回の結果として、面的に他の地点も含めて全体的に線量は下がっていると思っていいですか。
須賀課長	下がったと認識しています。
井上委員 (以後、副委員長)	竹は根が深いが、表土剥ぎ取りの深さはどのくらいですか。
須賀課長	表土剥ぎ取りの基本は5 cmですが、場所によっては通常より深く実施して、伐根をしました。
委員長	剥ぎ取りをした土の（放射線）濃度は測定しましたか。
永田専門官	測定はしていませんでした。
委員長	もし今後分かった場合は教えていただきたい。以前、伐採した竹をいただいて測定をしたのですが、竹は2,000 ベクレルありました。 ご住職は竹を伐採することを残念がっていた。ご住職は結果に対して何か仰っていましたか。

須賀課長	結果については喜んでいらしたと聞いております。
委員長	それは良かったです。 では S 寺については以上で終了とします。

【町道沢東原 1 号線路肩結果報告】について

須賀課長	◆資料 4 に基づき説明。
床次委員	施工方法が、「削り取り→砕石」とありますが、施工的には中途半端な感じがします。これで完了ですか。
須賀課長	これで完了となり、舗装は実施しません。現状以上の整備は考えていません。舗装要望となれば、道路管理者の管理の下、対応をしていただく内容であると考えます。
床次委員	海外の放射線量の高い地域では、道路等の舗装をすることで線量が低下している事案があったため、手法として挙げさせていただきました。
委員長	砕石の砂利の線量は事前に測定していましたか。 砂利の種類の中にも元々線量が高いものがある。砕石することで余計に線量が高くなることがないよう、使う前に線量を確認した方がよいと思います。
永田専門官	使用した砂利は工事用の資材なので、事前に測っています。
委員長	分かりました。では、以上でこの議題は終了とします。

(2) 浪江町除染進捗状況報告

発言者	発言内容
須賀課長	◆資料 5 に基づき説明。
委員長	浪江町では大気浮遊じんモニタリング測定を実施しているのですが、以前、近くで解体していた際に、モニタリングの数値が上がったことがありました。線量的には低い数値ですが、影響があることを考慮して改めて作業を進めていただくようお願いします。
副委員長	解体していない家屋はどのくらいありますか。
須賀課長	件数は把握していません。どのくらい解体の申請がくるのかは分からない部分があります。 資料にある除染工事の対象数量「宅地」の部分は、解体したもの、解体していないものも全て含めています。解体しない場合は、建物外の宅地部分の除染を行いますので、除染実績のパーセンテージで解体しない部分が見えてくると思います。 また、解体については、避難指示解除後 1 年は受付すると思います。避難指示解除後も解体の要望はごく一部残ると考えています。
副委員長	除染について、除染していないところがあっても解除になるのですか。
須賀課長	そうなります。100%になるのは難しいです。
副委員長	人口密集地で、そのような案件はないですか。

永田専門官	そういう現実もあります。
須賀課長	解除後に除染を実施することになるとしたら、町とも相談しながら方法等も検討して行っていきたいと考えます。
副委員長	町では、そのような案件はありませんか。
松本補佐	避難指示解除区域ではあります。20件程度の未同意箇所があります。 環境省で対応を続けてもらっているが同意してもらえていません。引き続き同意をいただけるよう進めていきたいと思います。
永田専門官	近くに未除染の地域があるのは、線量うんぬんではなくとも気分は良くないと思います。
委員長	眞田委員にお尋ねしますが、“ここを除染した場合の、ここへの影響” というようなシミュレーションは可能でしょうか。
眞田委員	可能です。
委員長	そのようなソフトが開発されているので、是非活用してみてください。 除染の同意を得るために、除染の影響をシミュレーションして提供していく方法も検討してみてください。
眞田委員	シミュレーションの計算は簡単にできるので、要望があれば声をかけてください。
副委員長	次回以降とかで、そのような（未同意・未除染）案件を見ることは可能ですか。
松本補佐	可能です。

委員長	早く帰還する方は、覚悟を持って戻ってきていると思います。 なおさら、目を光らせていると考えて対応してください。 環境省は、定期的に除染後のデータを町に提供して欲しいと思います。
床次委員	浪江高校津島分校の除染結果報告書のデータで、低減率が「▲19.2%」となっていることの説明をお願いします。
須賀課長	ここは低減しにくい地点で、高圧洗浄等で行っているが、削り取りが不可のため低減が難しい。また、誤差の部分もあります。 1 mの方が高いのは、ご指摘の通り周囲の影響が考えられます。
床次委員	原因が周囲からだと分かる場合は、どのような対応をするのですか。
須賀課長	原因が確実に分かれば、フォローアップ除染を実施します。
須賀課長	確認したところ、除染結果報告書に「コリメータ使用有」と記載があります。1 cmの測定はコリメータを付けています。1 mは付けていません。
委員長	コリメータは遮蔽体で周囲からの影響を遮断して地点の線量を確認するための物で、そのポイントのみを測るように用いられる物です。 今後は、“コリメータを付けている、付けていない”を明確にした資料としてください。 町として、学校の今後の使用予定はどうなっていますか。
柴野課長	閉校となり、学校としての活用はありません。多方面で活用する方向で検討していますが、まだ決まっていません。

委員長	議題 2 については、以上で終了とします。
-----	-----------------------

(3) 令和 3 年度除染検証委員会計画について

発言者	発言内容
山田係長	◆資料 6 に基づき説明。
副委員長	準備宿泊をする際は、個人線量計は着ける（貸出する）のですか。
山田係長	線量計を貸出し、数値が高い場合はフォローアップ除染等の要望をするなど対応していきます。
委員長	バリケードを外すと犯罪が発生すると思いますので、対応をお願いします。
山田係長	警察や防犯パトロール等と連携していくようにします。
委員長	野生動物の対策窓口も検討してください。
山田係長	現在も対策窓口は設置していますので、安全を確保します。また、個人でのバリケード設置の提案もしたいと考えています。
委員長	住民の線量に対する要望が多発すると思います。環境省は都度対応をしてほしいと思います。 また、町への問い合わせ・要望等の一覧を、委員会で提供してください。

6 閉会

発言者	発言内容
事務局	(閉会挨拶)

